



マツシロ株式会社

2006年度 環境活動レポート

(2006年6月～2007年5月)

発効日 2007年7月1日

改定日 2007年9月11日



□ごあいさつ

2006年8月に環境経営システム(エコアクション21)を認証取得いたしました。

認証取得への取り組み、認証後の行動を通じ、地球温暖化防止に向け全社員の気持ちをひとつにすることが出来、概ね大きな成果を得ることが出来ました。しかし、節水が目標未達成であり、ここにまだまだこれからも改善の余地が残っていると考えています。2年目の今年度は、一人ひとりの小さな行動と心がけの積み重ねにより、更なる目標へのチャレンジが必要であると痛感しています。私たちの小さな一歩が、未来の地球と、私たちの子孫を支えることが出来るという考えを強く持ち、更なる改善行動をしていきたいと思えます。

2007年6月
代表取締役社長 松城幹夫

環境方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみになってしまう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営理念の中に、「環境を意識し地域社会に信頼され、社会に貢献する会社を目指します」という項目があります。この理念を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

・ 行動指針

1. 地球温暖化防止のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します
- ・ 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します

制定日：2005年10月21日

改定日：2007年6月22日

代表取締役社長 松城 幹夫

□事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
 マツシロ株式会社
 代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
 本社 : 大阪府東大阪市角田 1 丁目 10 番 8 号
 東京営業所: 東京都台東区浅草橋 1 丁目 32 番 3 号 (適用範囲外・更新時取得検討)
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 責任者 工務課係長 : 南野 幸伸 TEL : 072-962-1431
 担当者 本社 総務課: 赤滝 聡子 TEL : 072-962-1431
 (連絡先: 本社)
- (4) 事業内容 (認証・登録の活動範囲)
 紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
 雑貨小物の製造・企画・販売
 具体的商品例: リサイクル 100%ペーパー使用紙袋・ポリプロピレンビニール被せ紙袋
 レジかご対応バッグ (エコ楽バッグ)・環境対応買い物袋 等
 ホームページ: <http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
 主要製品生産量 445 トン/年
 従業員 42 名 (内 東京 3 名)
 本社工場延べ床面積 3,976 m²
 東京営業所延べ床面積 232 m² (適用範囲外)

□環境目標とその実績

当本社工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年度	2004 年	2005 年	2006 年		2007 年
		(実績)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)
二酸化炭素排出量	(kg-CO ₂)	89,824	88,980	86,698	79,387	85,799
目標	電力	175,755	173,886	168,725	150,585	166,967
	自動車燃料	10,089	10,030	9,887	9,691	9,786
廃棄物排出量						
目標	一般廃棄物削減	24.8	23.2	24.3	19.4	24.1
	コピー用紙削減	625	645	613	445	606
総排水量	総量 (m ³ /年)	600	544	564	568	558

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ① 環境にやさしい商品生産と企画及び販売
- リサイクル 100%再生紙仕様商品の販売量の増加
 - 紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加
 - レジ袋削減促進買い物袋の開発販売
 - グリーン購入法商品登録申請



□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
①電力の省エネ（基準年度比△4%） ・節電運動の展開 ・クールビズ・ウォームビズ運動 事務所：冷房 27℃ 暖房 21℃ 工場：冷房 26℃ 暖房 22℃ ・定時退社推進による残業時間の短縮	目標：168,725kwh 実績：150,585kwh 達成率：112.05% 基準年度比：85.68% △14.32%（削減）	（目標達成） 年間目標は大きくクリアしているものの無駄な点灯などが見受けられ、まだ節電意識が浸透していないように思われます。今一度、意識向上を目指すよう取り組んでいきます。
②可燃廃棄物の削減（基準年度比△2%） ・リサイクルゴミと一般ゴミとの分別 ・ゴミ削減運動	目標：24,304kg 実績：19,426kg 達成率：125.11% 基準年度比：78.33% △21.67%（削減）	（目標達成） 現場でのリサイクルゴミと一般ゴミとの分別意識が浸透し、ゴミ削減運動の成果も出たものと思われます。より一層の取り組みを行います。
③コピー用紙の削減（基準年度比△2%） ・裏紙及び端紙使用の徹底(再利用) ・ミスコピー・ミスプリントの防止 ・焼却→古紙回収へ(リサイクルへ) ・両面コピーの推進(2枚から1枚へ)	目標：613kg 実績：445kg 達成率：137.75% 基準年度比：71.20% △28.8%（削減）	（目標達成） コピー用紙の削減と言う点では目標クリアしていますが、古紙回収と言う点でまだ問題があります。なお一層事務所でゴミ分別に取り組んでいきます。
④ガソリンの削減（基準年度比△2%） ・無駄な使用の制限 ・全車エコドライブ宣言	目標：9,887ℓ 実績：9,691ℓ 達成率：102.02% 基準年度比：96.06% △3.94%（削減）	（目標達成） 年間目標はクリアしているものの、複合的要因によって月間実績にバラツキが出ています。要因を追求し計画的に減らせるよう取り組んでいきます。
⑤節水（基準年度比△6%） ・節水運動 ・使用量の表示等による啓蒙	目標：564 m ³ 実績：568 m ³ 達成率：99.30% 基準年度比：94.67% △5.33%（削減）	（目標未達成） 基準年度より削減は出来たが、目標には後一步届かず残念な結果に終わりました。もう一度、目標達成に向けての取り組み方を検討し実施していきます。
⑥環境配慮製品の開発及び販売促進 ・リサイクル 100%再生紙仕様商品の販売量の増加 ・紙・プラ完全分別可能商品の販売量増加 ・レジ袋削減促進買い物袋の開発販売 ・グリーン購入法商品の開発と登録申請		・紙・プラ分別可能商品の大手コンビニエンスへ導入ができました。 ・1月のレジ袋有料化実験により、レジかご対応バッグの大幅な販売量が増加しました。 ・グリーン購入法申請は継続中です。
総括		・本格的にエコアクションに取り組んだ一年でした。初年度ということもあり、全社を上げての取り組みに成果が出たこと、また、それに呼応するかのように、環境商品の販売が大幅に増加したことは、これからの活動の励みになると思われます。今年度一年の取り組みを検証し、次年度も目標達成のために、今年度同様積極的な行動をしていきます。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等
騒音規制法	製袋機・断裁機
包装容器リサイクル法	包装資材商品
フロン回収・破壊法	業務用エアコン

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

